

会 議 要 旨

会議名	令和2年度 館山市スポーツ推進審議会
開催日	令和2年10月13日(火)
開催場所	市役所本館2階会議室
出席者	館山市スポーツ協会会長：廣中元衛，安房医師会：高幣民雄，館山市スポーツ少年団副本部長：押本一美，館山市スポーツ推進委員連絡協議会会長：松坂誠一，館山市ファミリースポーツクラブ”わかしお”会長：鈴木正一，2020年東京オリンピック・パラリンピック館山市推進本部部長：田村悦智子，館山市議会議員：森正一，館山市小中学校校長会：阿部庸一，館山市総合政策部長：川上孝
公開・非公開の別	公開 一部非公開 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>1 開会</p> <p>2 教育長挨拶 この審議会は、スポーツ基本法及び館山市スポーツ推進審議会設置条例に基づき設置している。館山市教育委員会の諮問に応じ、スポーツ振興に関する事項について、調査・審議及びこれらの事項について、答申及び県議する附属機関である。一人一人の健康への取組が大事、昨年度の審議会で答申いただいた「スポーツ健康都市宣言」について11月3日に宣言する運びとなった。 それぞれの立場から忌憚のない意見と審議をお願いする。</p> <p>3 議事 ① 報告事項：令和2年度事業概要について 事務局からの説明 市民の生涯スポーツの推進，スポーツを通じた健康の保持増進，体力向上，また，スポーツを行う場所，施設の適正な維持管理，さらには，スポーツ目的で館山へ訪れる方々を増やすための施策をオリパラの事前キャンプ誘致をきっかけとして，3つの係がそれぞれ連携しながら進めている。 新しい生活様式の中でのスポーツが始まっており，「スポーツ健康都市」を宣言し，コロナ禍であるからこそその取組も行っていく。 ～質疑～ 松坂委員：コロナの関係でスポーツ行事が中止になっている。来年に向けて実施の方向性等の考えは？ 事務局：例年開催の大会はこれまでどおり開催していきたい。ただし，コロナの状況によって開催の可否を判断していく。予算もコロナへの対応を考慮した内容で確保していきたい。</p>

② 協議事項：各種団体等への補助金交付について

事務局から説明

今年度、館山市スポーツ協会に5,627,000円、館山市スポーツ少年団に1,245,000円を補助金交付している。来年度も各団体に同額としたい。

～質疑～ 【了承】

③ 意見交換：「スポーツ健康都市宣言」と今後の取組

事務局から説明

コロナ禍だからこそ生活の中に溶け込んだ身近な運動習慣を呼びかけていく。

「With コロナでのスポーツ」、「新しい生活様式の中でのスポーツ」について、ご意見やアイデアを伺いたい。

松坂委員：ステイホーム開け子供たちの体力の低下を実感した。

大人は自己管理で取組むこともできるが、子供は難しい。仲間や友達と一緒にできる取組ができればと考えている。

田村委員：一緒に取組む人がいると、効果的でストレス解消にもなる。小さい単位でもよいので公民館や生涯学習課とコラボ企画などで楽しくできればよいと思う。

鈴木委員：40人規模の小さいランニングイベントを実施した。今のところ発症者が出ていないので、対策もきちんとできたとと思っている。コロナへの対策をしながら実施することも必要。

押本委員：学校が休校中スポ少バレーの活動も休止。その間 SNS などを活用し体を動かすこともしたが持続が難しかった。活動再開後、友達と一緒に取組むことで頑張れるようだ。子供の活動の場として、入団希望者が増えた。

今度大会の開催があるが帯同保護者の健康チェックも義務付けられている。市が大会等実施する際の参考になればと思う。

④ その他：

鈴木委員：来年のオリンピック聖火リレーの情報は？聖火リレーはアピールの場ともなるので、プッシュしていただき、取組ができれば良いと思っている。

事務局：日程、コースは変わらないが、聖火受渡のイベント等は簡素化との情報。規模等は不明。

5 その他

事務局から事務連絡

6 閉会